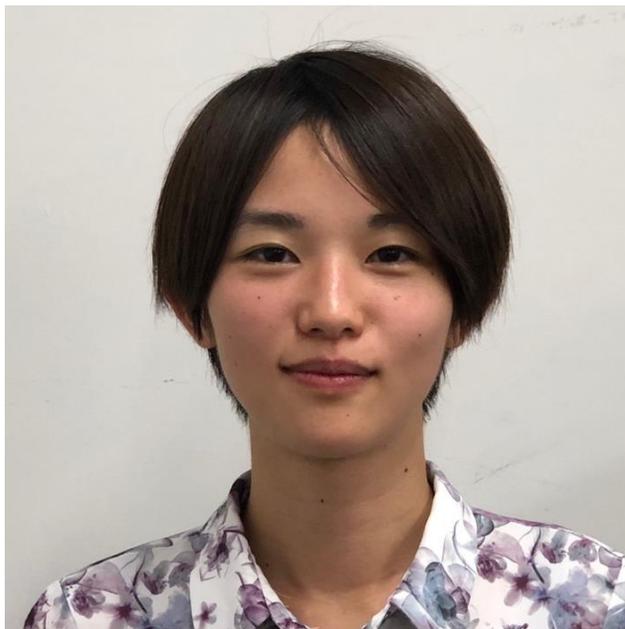


機械・IT



登壇者名	野城菜帆
所属等	慶應義塾大学大学院
連絡先	nahoyashiro@keio.jp

法人設立予定時期 (西暦)	2021年前半
事業活動拠点都 道府県	東京都 (予定)
個人SNS等	https://www.facebook.com/naho.yashiro
事業プラン名	海事全般のデータベース作成による海洋資源関連事業のICT化
事業プラン概要	<p>独自に開発した小型/安価な水中センサモジュールを用いて海洋データ（水温、塩分濃度等）を取得する。補完的にオープンデータである衛星データも活用する。</p> <p>これらのセンシングデータとその他データ（漁獲量等）を活用し、海洋資源発見や資源管理に役立てる。</p> <p>このように海洋データ収集・解析基盤を整えることで、海洋資源産業をはじめ、幅広く海事産業で活用できる海洋データプラットフォームを作成する。</p>
福島/本プログラム にかける想い	<p>日本は世界有数の排他的経済水域を持つ海洋国家であり、古くから海事産業が発展してきました。その中でも海洋資源には大きなポテンシャルがあります。特に福島県は黒潮と親潮がぶつかり合う潮目となっており、良い漁場に恵まれています。このように福島県を舞台に、海洋資源大国日本を作り上げる事業を作りたいと考えています。</p>
イベントにご参加い ただく方への一言	<p>水産業のICT化に興味をお持ちの方、その他海洋・湖沼等水中センシングに興味をお持ちの方、実証実験にご協力いただける方等、本事業案にご関心を寄せていただけましたらお気軽にご連絡いただけますと幸いです。よろしく願い致します。</p>

Sea Net

-水産業のICT化-

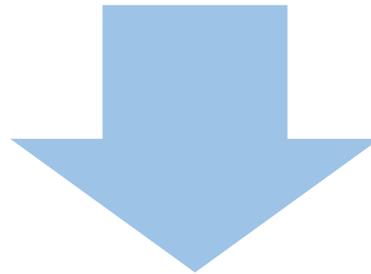
野城菜帆

海洋資源によって
経済的・技術的に豊かになった
海洋立国日本を実現する

その第一歩として 水産業のICT化に取り組む

水産業のニーズ

適切な資源管理
効率的な操業



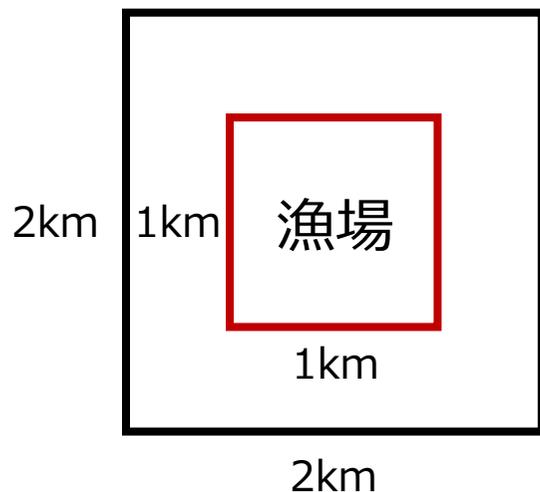
水産業の**ICT化**が有効

課題①

所望の範囲内で高密度の海洋データを安価に集める手段がない

現実

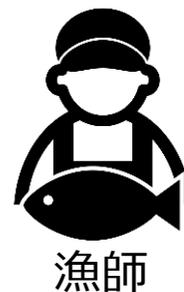
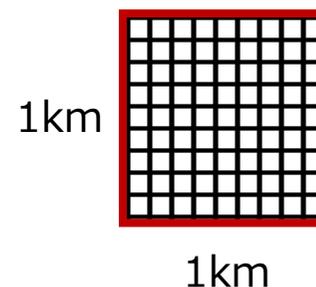
数km四方でのデータ取得が限界
高密度にしようとする一気に高額に



1km四方の漁場内の
データ分布が
見たいのに...

理想

安価に数百m四方でデータ取得可能



1km四方の漁場内の
データ分布を
細かく見られる!

課題②

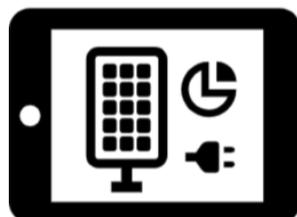
現場の漁師の方々が使いやすいツールがない

現実

海洋データ取得には専門知識が必要
使用するのに手間がかかる



技術者



ツール

理想

海洋データ取得に専門知識は不要
簡単に使用可能



ツール

課題③

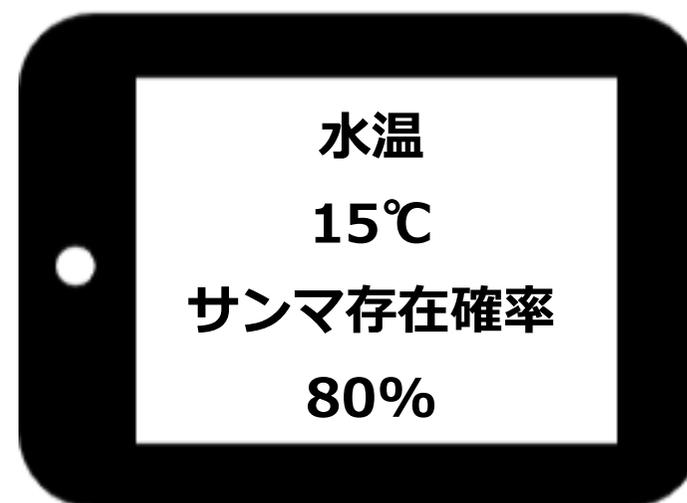
海洋データの活用方法が確立していない

現実

理想

ただの観測で終わってしまっている

データ利用者の意思決定を支援できる

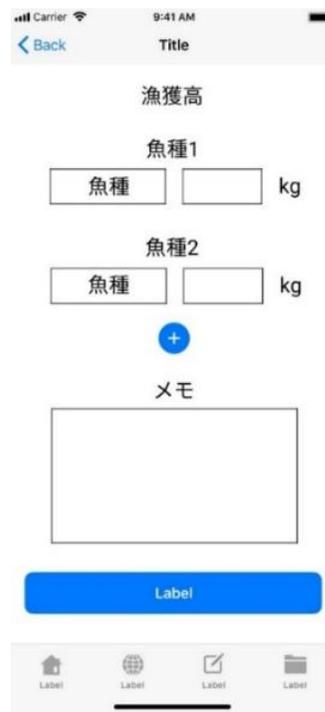


ソリューション

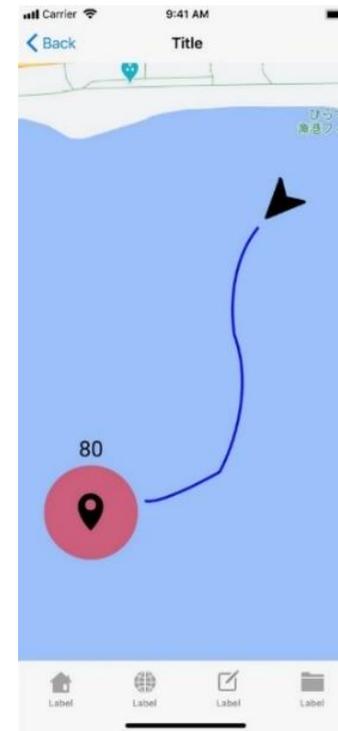
海洋データを安価に収集し意思決定支援まで行うツールを作成



水中センサモジュール



デジタル漁業日誌



漁場予測・資源管理等
意思決定支援ツール



意思決定



フィードバック

顧客が受け取る価値

コスト削減に大きなインパクト

海洋観測機器購入費用
数百万円削減

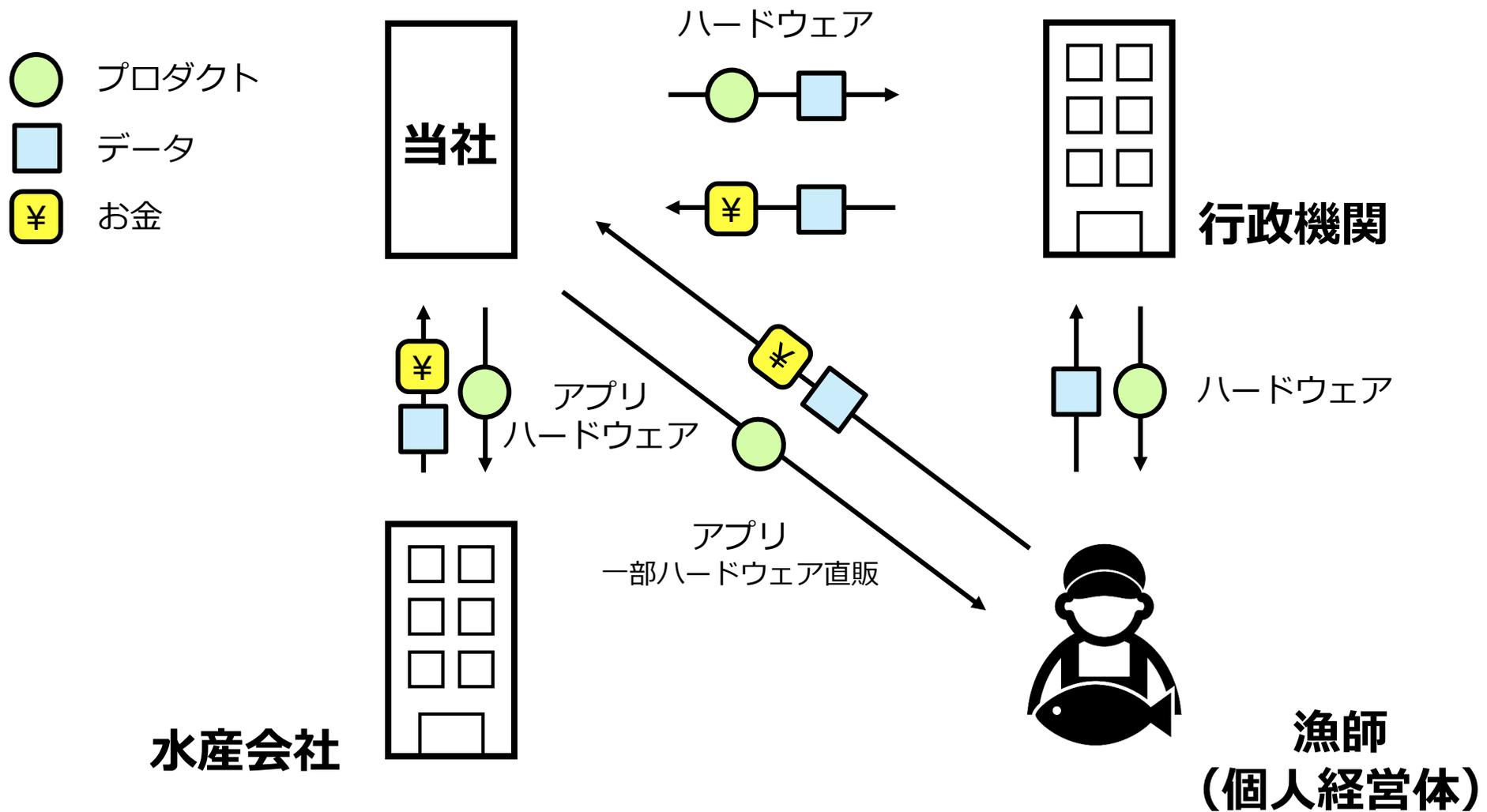


燃料費**15%**削減



ビジネスモデル

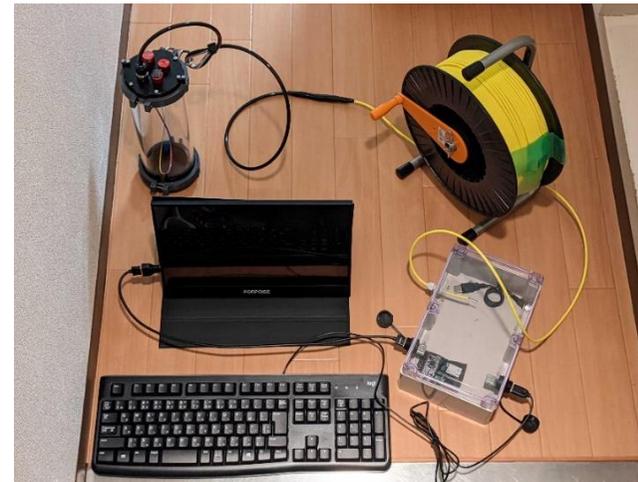
BtoBとBtoGtoBモデルを想定



競合比較 – ハードウェア

価格とカスタマイズ性に優位性

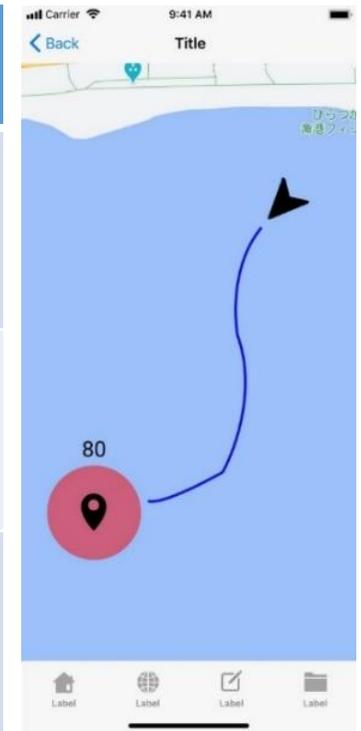
会社・事業名	価格	精度	カスタマイズ性
Sea Net 水中センサモジュール	◎	○	◎
海洋データ取得用 観測機器メーカー	×	◎	△
魚群探知機メーカー	△	○	△
ブイメーカー	×	◎	○



競合比較 – ソフトウェア

特にデータの密度に優位性

会社・事業名	価格	データ密度	カバー範囲
Sea Net 資源管理・漁場予測等	◎	◎ センサデータ利用	○
漁場予測アプリ	○	△ 衛星データ利用	◎
海況予測アプリ	○	△ 衛星データ利用	◎



本事業案の進捗

プロトタイプを製作中

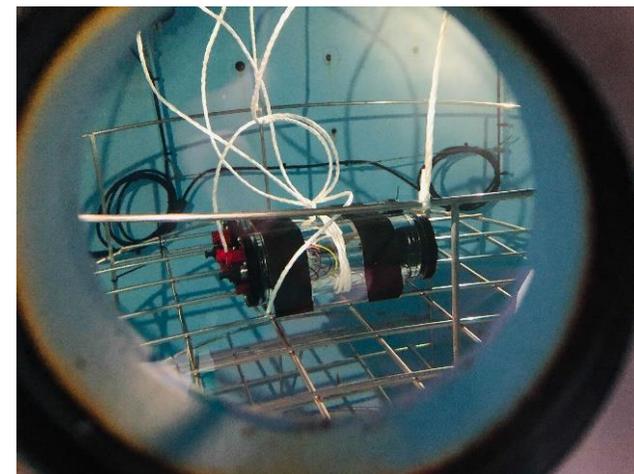
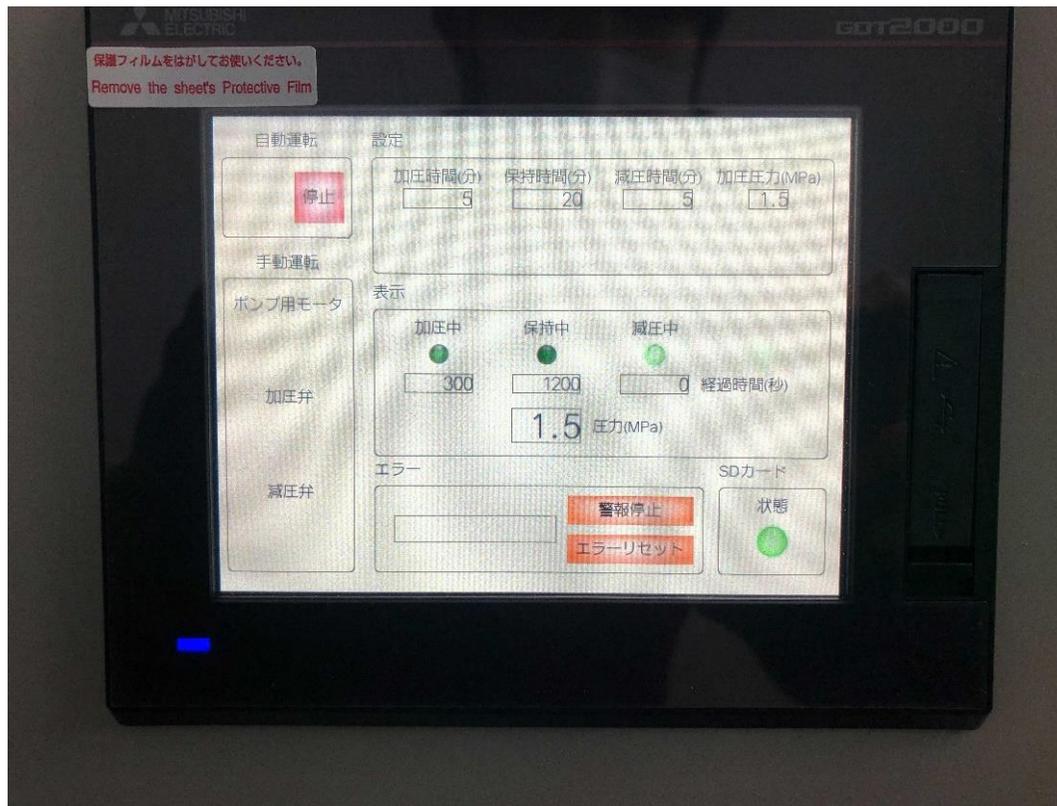
- 水温・水深はすでにデータ取得可能
- 今後塩分濃度・溶存酸素等も実装予定



本事業案の進捗

福島ロボットテストフィールドで耐圧試験実施

- 水深150mまで使用可能



最後に

**ご興味お持ちいただけましたら、
お気軽にご連絡いただけますと幸いです。**

- 実証実験にご協力いただける方
 - 船に搭載して数時間データ収集させていただきたい
 - 使い心地等のフィードバックをいただきたい
- 取得データの活用方法についてご相談できる方
 - 県庁等の行政機関
 - 水産系の研究機関
 - 水産会社・漁師の方々
 - その他水質管理等水中センシングを行いたいの方々